

アジア政経学会 2014年度第6回理事会 議事録

1. 日時 2014年12月20日(土) 1530~1730

2.会場 立教大学池袋キャンパス12号館第二会議室

3.理事・監事総数 26名(理事24名、監事2名)

4.参加者 14名(理事:磯崎、金子、川島、小嶋、澤田、清水、園田、高橋、竹中、田村、永井、山田、山本、監事:佐藤)

欠席:大橋、梶谷、加茂、巖、高原、中溝、平岩、松田、丸川、三重野、渡邊、滝口

5.議長 竹中理事長

6. 議事

(ア) 15時30分に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、総務担当・川島真理事から、本日の欠席者が11名にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、川島氏、小嶋氏の二名、佐藤の両監事を指名し、いずれもこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2014年10月18日)の理事会議事録の確認をおこなった。

◆議案1 2014年度西日本大会に関して

竹中理事長から、西日本大会の開催が盛況を収めたことが報告され、開催校の京都大学への感謝が述べられた。

◆議案2 会員投票(理事・監事選出)について

竹中理事長、金子理事が配布資料に基づき、理事・選出に方法に関して説明を行った。投票締め切りは2015年2月28日(土)必着とするとされた。

◆議案3 財務状況について

小嶋理事が配布資料に基づき、説明を行った。特に名簿作成に多大な費用が必要となると指摘された

◆議案4 2015年度全国大会について

竹中理事長より、現在5月末(30日、31日)に明治大学で開催する方向で検討中である旨、報告された。高橋理事より年明けには報告者を募集する旨、報告された。

◆議案5 『アジア研究』の刊行計画について

川島理事より、配布資料に基づき説明が行われた。竹中理事長からは、現在編集状況は

良好である旨、報告された。

◆議案 6 J-STAGE について

竹中理事長より是非会員に広く活用して欲しい旨、言及があった。

◆議案 7 ニュースレター

清水理事より現在東日本大会の編集後記の編集が完了し、西日本大会に関しては間もなく締め切りを迎える旨、報告された。

◆議案 8 ホームページについて

川島理事より、ホームページの利用状況には特段問題ないことが報告された。

◆議案 9 定例研究会について

磯崎理事より、本日第 14 回定例研究会が開催された旨、報告された。また次年度の開催に関しては今後の要相談である旨、報告された。金子理事からはこうした研究会は大学院生の教育の場として有効なので、継続されたい旨、報告があった。

◆議案 10 国際交流について

園田理事より台湾の学会との共同シンポジウムを開催する旨、報告された。また、学会活動の国際化に際して、学会として外部資金を獲得する必要がある旨、指摘された。

竹中理事長より、豪州の学会から交流の打診があった旨、報告された。また予算の獲得の重要性は理解するものの、その管理に関して財務担当者の負担が増す旨、指摘された。これに対して、園田理事からは学会としての基本方針を決定すべき旨、指摘された。小嶋理事からは現在の学会の財政状況からすれば、拡大するよりもスリムダウン化を目指すべきと指摘された。佐藤監事からは現在の交流は理事クラスが担っているが、これに関して一般会員に説明を行う必要性が提起された。

こうした意見を踏まえ、竹中理事長は園田理事に国際交流の基本方針に関する原案を作成するよう指示した。

◆議案 11 倫理綱領について

田村理事より、配布資料に基づき説明が行われた。これに対して、竹中理事長からは状況に応じて倫理委員会の設置できるような体制を準備しておく必要性が提起された。

◆議案 12 入・退会者について

川島理事より、配布資料に基づき説明が行われた。

◆ その他

川島理事より東アジア大会と地域研究学会連絡協議会の参加報告が行われた。

また、竹中理事長から 2015 年度は東日本大会と西日本大会を統合し、10 月 17 日（土）に常磐大学で開催する予定である旨、報告された。

川島理事より理事選挙の開票作業を 3 月 9 日に開催することが発表された。